

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL.9

あさがわけきとく  
厚狭川激特だより

## はじめに

厚狭川激特だよりは、「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今回は、「景観に配慮した護岸について（その1）」、「事業の進捗状況」についてお知らせします。

【整備の目標】 厚狭川および桜川において、河道の掘削及び拡幅により、洪水を流下させる能力を向上させるとともに、排水ポンプを増設することにより、平成22年7月洪水規模の出水に対して災害の防止を図ります。

## 景観に配慮した護岸について（その1）

鴨橋周辺では、現在、鴨橋の架け替え工事や護岸の整備を進めています。このエリアでは、歴史的な景観に配慮した整備を行っています。ここでは、護岸の整備における景観への配慮について、2回に分けて紹介します。近くを通られた際は、新たな目で護岸を見てみるのも面白いかもしれません。

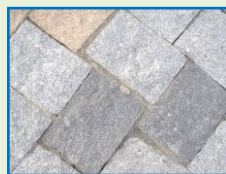


## 石積みの色

この付近の護岸の特徴は、なんといっても古くからある石積みだと思います。もちろん、新しくつくる護岸もコンクリートブロックではなく、石積みに。単に石と言っても、自然のものなので、いろんな色がありますが、既存の石の色を調査し、極力これまでの石の色に近いものを使用しています。できあがりには新しくてちょっと不自然かもしれませんが、年月が経つにつれ、自然に石も汚れていき、いい風合いになるのではと期待しています。

## 深目地(ふかめじ)

石積み護岸の裏側には、強度を高めるために、コンクリートをしっかりと詰めていきます。また、表側からも石と石の間(目地)にモルタルを詰めていくのが一般的です。しかし、これだと石と石の間にコンクリートが見えて味気ないものになってしまいます。そこで、深目地という手法を使って、表側にコンクリートが見えないように工夫しています。また、深目地にすることで、石と石の間にできるわずかなすきまが生物の隠れ家になるなど、環境にもやさしい護岸です。



一般的な目地



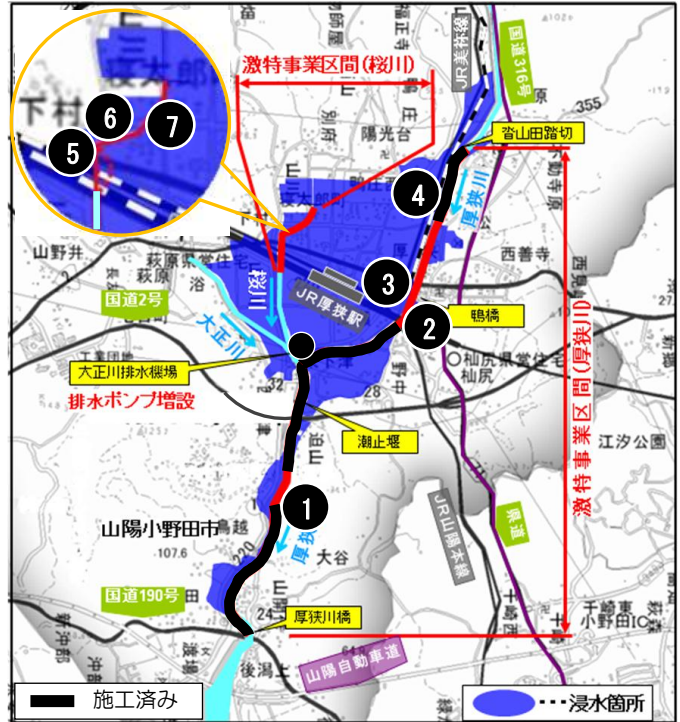
深目地



既存の石積み

### 事業の進捗状況

- ① 厚狭川下流部では、作業船による川底の掘削工事を進めています。
- ② 鴨橋の下流では、両岸で護岸の工事を進めています。
- ③ 鴨橋の架替工事を進めています。現在、鴨橋は車両通行止めですが、歩行者は仮橋の通行が可能です。
- ④ 厚狭新橋より上流の川底の掘削が完了しました。
- ⑤ 桜川橋の架替工事を進めています。現在、迂回路により通行が可能です。
- ⑥ 桜川の護岸の工事を進めています。
- ⑦ 山川橋および団地内の橋の架替工事を進めています。工事期間中は、この2か所は通行止めとなっています。



※左欄の番号と右図の箇所番号が対応しています。

### < 2月末の施工状況 >



【厚狭川】下流部の川底の掘削工事



手前側が鴨橋架替工事、奥側が護岸工事

【厚狭川】鴨橋周辺の工事



鴨庄浄水場

【厚狭川】厚狭新橋より上流の川底の掘削 (完了)



【桜川】山川橋の架替工事

厚狭川および周辺においては、工事に伴う騒音振動や交通規制及び工事用車両の通行等でご迷惑をおかけすると思っておりますが、細心の注意をはらって施工いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

<< お問い合わせはこちらまで >>

山口県宇部土木建築事務所 〒755-0033 宇部市琴芝町 1-1-50  
TEL 0836-21-7125 FAX 0836-22-5231

